



Mercedes-Benz

お知らせ

Press Information

2011年12月5日

## メルセデス・ベンツ Cクラスがインポート・カー・オブ・ザ・イヤーを受賞

- ・ 「2007-2008」に続き2度目の受賞 — 日本カー・オブ・ザ・イヤー史上初！
- ・ 基本性能と環境性能を評価

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、内外装を刷新し上質さを一層高めるとともに、装備の大幅な充実と環境適合性の向上を図った新型Cクラス(セダン/ステーションワゴン)が、「2011-2012インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」(主催:日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会)を受賞したと発表しました。

受賞理由として、「優れた安全性を始めとする基本性能の高さに加え、2,000箇所にも及ぶ改良を施した。さらにはダウンサイジングした直噴ターボエンジン+7速ATの搭載で、高い環境性能も実現した点を評価」\*いただきました。

1982年に登場した「190クラス」を起源にもつCクラスは、常にプレミアムコンパクトカーの指標とされ、世界で累計800万台以上販売されてまいりました。現行型も2007年発売以来、累計販売台数100万台を超え、世界累計でも日本国内販売においてもセグメントシェアナンバー1を獲得するなど、多くのお客様にご愛用いただいています。

なお、現行型Cクラスは発売時に「2007-2008インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」も受賞しており、今回の受賞で改めてCクラスの基本性能・環境性能の高さと真摯な車作りを評価いただいたこととなります。

\*日本カー・オブ・ザ・イヤー公式サイトより抜粋



メルセデス・ベンツ Cクラス

125! Jahre あなたとともに、次の感動へ

Mercedes-Benz - A Daimler Brand